

新型コロナウイルス

町民への情報提供を協議

実施日 令和2年12月2日

目的 全道的に新型コロナウイルスが感染拡大してきているなかでの町の対応を確認し、町民視点で内容を深める。

《内容》

- 1 新型コロナウイルスに関する情報収集状況と町民への情報公開
 - ・ 町内における感染情報は道の方針に基づき、本人の承諾がない限り公表しない（町にも情報が来ない）
 - ・ 感染者の受入れ病院やベット数の把握について、町として具体的な内容は把握できていない状況
 - ・ PCR検査を実施できる医療機関について、町として把握できていない状況
- 2 感染拡大傾向における町民に向けた対応
 - ・ 周知のチラシ、広報の特集等で予防対策を周知
- 3 委員からの意見要望
 - ・ 情報が全くないと自己防衛も難しい。個人を特定できなくても町内における感染状況を町民に周知すべき。



・ 町村会等を通じて町として情報開示のあり方を意見すべき

・ 防災無線等を活用し、町民に必要な情報は繰り返し伝えるべき

《検証》

委員が驚くほど町に情報が少なく、町民に情報を伝える状況ではないことが分かった。

町民からは情報が少ないという声もあることから、必要な情報を的確に知らせる工夫と取組が必要と感じる。引き続き委員会で検証し、担当部局と協議を進めていく。

新型コロナウイルス

感染予防対策を調査

実施日 令和2年12月4日

目的 公共施設における感染予防対策状況を把握し検証する。

《内容》

- 調査した各所とも、飛沫や接触による感染を防止するための備品の設置や設備の改修が行われていた。
- また、3密を避ける、手指の消毒、手洗いの励行、マスク着用を職員及び利用者呼びかけるなどの対策に取り組んでいることを確認した。
- 各所での取組は次のとおり。
- 1 そっち岳スキー場
 - ・ 感染予防対策用のアルコール手指消毒薬（自動滴下）を2か所に設置
 - ・ 各テーブルに透明シートのパーテーションを設置
 - ・ 北海道の警戒ステージに合わせ、休業基準、ロッジ内の椅子の配置個数の制限を準備
 - 2 図書館
 - ・ 職員の健康管理（検温）の徹底
 - ・ 館内の定期的な換気と消毒作業
 - ・ 書籍専用消毒器の活用（一日に平均200冊程度を処理）



本の消毒作業

3 除雪センター

- ・ 換気強化のため、2階の窓2か所、扉1か所の新設と、古くなった換気扇を改修
- ・ 休憩室及び仮眠室の床断熱を改修
- ・ パネルヒーターを5台新設
- ・ 2階トイレ新設、1階トイレ改修
- ・ センターに入室する勤務者に対して、入口で検温、手指消毒を実施
- ・ 事務室および除雪車内の定期的換気
- ・ 出勤時を2班集体の時差出勤にすることにより、人の密集を回避

《検証》

冬期間利用される施設について、職員関係者に予防対策を徹底し、利用者にも協力を呼び掛ける体制を整えたことは、住民の安心・安全に強く結びつく。感染予防に油断することなく、体制の維持に努めていただきたい。